

夏休みの過ごし方

夏休みがやってきます。3年生はいよいよ受験に向けて気合が入ってくる時期ですね。体調に気を付けながら、受験勉強をすすめていきましょう。夏休みのミッションは、やはり英・数・国の完成です。受験勉強の肝は、積み上げることではなく、抜けや漏れをどれだけなくすことです。いろいろ考え方はありますが、新しい問題集に手をつけるよりも、いままでやってきたもの（テストや問題集）が完璧になっているか、ということに注力してみましょう。

1・2年生は、勉強はもちろんですが、オープンキャンパスに参加しましょう。オープンキャンパスは日程が限られますが、個人的にはオープンキャンパス以外の日でも、キャンパスに入れそうであれば、旅行ついでに覗いてみるのもよいと思います。オープンキャンパスで何をチェックするかについては、いろいろアドバイスされていると思いますが、個人的に注目するところは「大学内の書店」「図書館」、理系だったら「実験施設」、それから周辺の住環境ですね。近所のスーパーで何を売っているかな、など見てみたり、タウン誌やチラシなどを手に入れると、どんな生活があるのかイメージが沸きますよ。

大学について調べてみよう 三大地味理系都内国立大について(数年前の再掲です)

電気通信大学 電通とは無関係

略称「電通大」。私立大学だと思われがちで、企業の「電通」と関係があると思われたり、東京電機大学（私立大学）と間違えられたり、まったく関係のない大阪電気通信大学（私立大学）とのつながりを聞かれたりというのはもはや定番です。

この電気通信大学は、1918（大正 7）年に無線通信技術者の養成機関として創設された**社団法人電信協会管理無線電信講習所**を起源としています。名前に地名がつかない国立大学としては現在唯一。公立大学でも地名がつかない大学は、**国際教養大学**（秋田県立）とか**名桜大学**（沖縄県立）ぐらいしかいないですね。情報理工学部だけの単科大学ですが、いわゆるICT 関係の研究に関してはトップレベルの大学です。情報工学関係のことをやりたくて、就職先もそういう方面を目指しているのであれば、かなりおススメの大学と言えます。学内ベンチャーの起業などもやりやすい環境のようです。

東京農工大学 農大・工大ではなく農工大

もともとは1874年に設立された**農事修学場**と、**蚕業試験掛**の二つの学問所をルーツとしています。これらの学問所の設立が1874年ですので、**創基150周年**を超える歴史を誇ります。戦後、1949年に2つの学校が統合され、**農学部**と**繊維学部**という2つの学部からなる東京農工大学として発足しました。1962 年には繊維学部が**工学部**に改変され、現在は農学部と工学部の2学部からなる大学になっています。農学部には生物系・環境系の学科があり、実習が充実しています。獣医の養成学科もあります。工学部はバイオ系・材料系・機械系。どちらの学部も、**他の理系大学に比べて女子率が高い**と言われています。

本当に目立たない大学ですが、日本でも屈指の歴史を誇る、実学に特化した大学であり、生活しやすい環境、研究・就職ともに信頼できるという、非常にいい大学だといえます。

東京海洋大学 海に関しては唯一無二・文系からも進学できる

東京海洋大学は**東京商船大学**と、**東京水産大学**という共に100年以上の歴史をもつ大学が統合してできた、実は名門の大学です。**東京商船大学**は、1875 年に設立された**三菱商船学校**（大久保利通が岩崎弥太郎に作らせた）をルーツとしています。戦後に商船学校が再編統合され、国立「**商船大学**」となりました。実は1949 年から1957 年にかけて、この「商船大学」は清水市にありました（東京は分校）。1957年に商船大学は東京に移転することになり、「東京商船大学」と名称が変わります。貿易立国である日本にとっては、超重要な大学であり、外洋航路の高級船舶職員を養成してきた大学です。

一方、**東京水産大学**は、1888年に設立された「**大日本水産会水産伝習所**」をルーツとしています。いわゆる水産業（メインは魚ですが、その他海の生物・漁村文化まで研究対象）に関する研究を行ってきた大学になります。

この2つの大学が2003年に統合してできたのが**東京海洋大学**です。知名度は低いですが、こと「**海**」に関する研究に関しては、**他に類を見ないレベルの高さ**であることは間違いありません。海洋生物から、海洋資源、船舶の構造、船舶の運用、さらに物流まで、研究対象は様々です。基本的に理系の大学なので、なかなか文系からは進学しにくい大学ですが、**海洋政策学部海洋政策文化学科**（海に関わりたい文系の人や、理系だけど大学では文系の勉強をしたい人向け）と**海洋工学部流通情報工学科**（物流メイン）は**文系からでも受験可能です**。

就職先については、商船大学からの伝統があること、きちんと実学を学べることから、商社を中心にほとんど苦勞することがありません。海に関する資格も取れます。一生海に関わりたい人にとっては、これ以上ない大学であることは間違いありません。

進路について考える…「看護系」

ここ最近、近県の看護系の大学の説明会にいくつか参加する機会がありました。いろいろ見てみると、改めて大学ごとに個性が違うことを実感したので、このあたりを整理したいと思います。

まず、看護師には「療養上の世話」と「診療の補助」という2つの役割があることが法律で定められています。ここではこれを簡潔に「ケア」と「キュー」として整理して説明します。ちなみに、どちらかという医師の役割は「診断・治療」であり、「キュー」に特化している職業だと言えるでしょう。

さて、看護系の学びには「ケア」と「キュー」の両面が重要ですが、どちらに比重がかかっているかは、大学のあり方によって違います。それは**設置者**という視点からも考えることができます。公立大学（県立大学）は地域医療や地域包括ケアを重視する傾向があり、国立大学は附属病院を生かした高度医療や「看護学」の研究に力を入れている大学が多い傾向があります。国立大学の看護師養成は「医学部」の中に「看護学科」が設置されている場合が多く、県立大学では独立した「看護学部」が設置されている場合が多いのは、こうした背景があるからだと言えます。

もう一つ大学を見る視点となるのが、大学の規模や他学部との関係です。具体的には後述しますが、大学内にどのような学部があるのかは大学比較の観点の一つになるでしょう。

以上をふまえて静岡県内の国公立看護系大学をみてみると、国立の**浜松医科大学**は、附属病院もあり、手術室や高度医療・救急医療における看護などを得意とする大学、**静岡県立大学**の看護学部は、保健所との連携・高齢者のケア・在宅看護といった**地域密着型**の看護をメインとする大学といえます。また、浜松医科大は附属病院のある医学部のみの単科大学に対し、静岡県立大学には附属病院はない一方、薬学部・食品栄養科学部・国際関係学部・経営情報学部と、複数学部がある大学というのも、対照的だと言えるでしょう。

さらに近県の看護系の大学も比較対象としてみます。一つ目は**名古屋市立大学**です。名古屋市立大学は、7つの学部がある総合大学で、医学部の**保健医療学科**、**看護学専攻**が看護師養成コースとなっています。名古屋市立大学の強みは、6つの附属病院があり、実習先が充実していること、医学部・薬学部・リハビリテーション専攻があることで、**多職種連携医療教育**が充実しているところです。詳細は省略しますが、**横浜市立大学**も同じような性格をもつ大学だと言えます。一方、**神奈川県立保健福祉大学**という大学があります。こちらは、**看護学科・栄養学科・社会福祉学科・リハビリテーション学科**という、どちらかという「ケア」に振り切った大学です。実際に病院や医療施設などで働くことを考えると、病院食を提供する**管理栄養士**・カウンセリングを行う**社会福祉士**・リハビリを行う**理学療法士**、**作業療法士**の養成機関と一体化していることは、とても実践的だなと思いました。

また、**名古屋大学医学部**にも看護学科があります。こちらは旧帝大の看護学科ですので、研究色が強いですし、入試も理系科目が必要です。さらに私立大学まで含めると、他にもいろいろなポイントがあることは言うまでもありません。

ここまでの論点をふまえて表にすると以下ようになります。この表はあくまでも進路課長が取材した特徴を整理したものであり、大学間の優劣を示しているものではありません。この表をきっかけに、より深く調べてみなさん自身で自分にあった大学を見つけてください。

	ケア	キュー	医学部	関連学部	他学部
名古屋大学	○	◎	◎	◎	◎
浜松医科大学	○	◎	◎	○	△
静岡県立大学	○+	○	△	◎	◎
名古屋市立大学・横浜市立大学	○+	◎	◎	◎	○+
神奈川保健福祉大学	◎	○	△	◎	△

看護師の資格は日本全国どこでも同じ資格です。また、看護師の資格自体は、大学へ進学せずとも、専門学校で取得することもできます。だとすると、「大学でどのように何を学ぶか」ということを考えて大学選びをすることの重要性は大きいと思います。また、看護系の大学のほとんどは「面接試験」があります。「なぜ、この大学に進学したいのですか」という質問に答えるためにも、その大学の特徴を自分なりに整理してみることをおすすめします。